

スパイウェアガイド White Paper (一般消費者のスパイウェア被害に関する)

作成: 2005 年 11 月 05 日株式会社ネクステッジテクノロジー

はじめに

この報告書は、2005 年 10 月 12 日からサービスを開始したヤマダ電機 WEB.COM(www.yamada-denkiweb.com) でのX-Cleanerマイクロスキャナを利用したスパイウェア検出除去サービスからの統計情報およびユーザーからの報告を元に作成しています。

目的

2005 年 3 月からスパイウェアガイド www.shareEDGE.com/spywareguide/ で提供していた無料オンライン スパイウェア検出と除去サービスでの統計情報に関する技術白書では、ユーザー層が、インターネットにより熟知していて、また'スパイウェア'の知識も若干持ったユーザーがメインであったのに対し、同年 10 月からのサービスでは、より一般のインターネット ユーザーが新たに加わり、この新しいユーザーのPCにおけるスパイウェア感染に関する統計情報を新たにまとめることにしました。

統計情報:

対象ユーザー数(PC)	約 8,000PC
検出率	1.8 件/PC

データの読み方:

対象ユーザー数は、初めて実行したユーザー数です。複数回実行したとしても1とカウントしています。検出件数は、サービス開始後の検出数から、通常のスパイウェアガイドでの検出数(その前の週の検出平均数)をとの差から求めています。

検出率は、検出数をユーザー数で割った値です。

また、X-Cleaner はクッキーをスパイウェアとして対象にしません。

考察:

数字上、一般ユーザーPCの1台当りに、1.8件の感染が報告されていることとなります。中には、検出されなかったユーザーもいたことが、別の報告からもあることから、感染のあるPCには、複数のスパイウェアが見つかるということを実証した値となります。

補足情報:

サービス開始から、あるユーザーからの報告では、スパイウェアに対応した最新のウィルス対策ソフトウェアのインストールされたPCにも関わらず、PCの調子が悪いので、加入しているインターネットプロ

バイダ(大手 ISP)のサポートセンターに電話したが、原因が分からないので OS を再インストールするように言われたため、PC の製造元(大手外資系 PC ベンダ)のサポートセンターに電話したが、同様の回答しか得られなかったそうです。結果、ニュース記事で見たヤマダ電機 WEB.COM での無料スパイウェア検出/除去サービスを試すことで PC が回復できたと述べています。

その PC には、9 つほどのスパイウェア検出があり、中でも CoolWebsearch や IST Bar など、悪名の高いハイジャッカにも感染している状態でした。

スパイウェア対策とその脅威について啓蒙活動を広める上で、無料オンライン スキャナは非常に有効です。しかし、こうした例にあるように、ISP や PC ベンダーのサポート技術者への教育がされていないのは非常に残念なことです。海外の多くの ISP や PC ベンダーは、2004 年以降、こうしたサポートへの負荷を軽減したり、ユーザーのサポートに対する顧客満足度を上げる目的で積極的にスパイウェア教育が実施されていますが、日本の実情はまだまだなのかも知れません。